



ラボ番号:
患者名:
ID:
性別:
年齢:

クライアント : 30131
医師名:
Detox Co., Ltd.
2-6-6 Numabukuro Nakano-Ku
Tokyo, 165-0025 JAPAN

Toxic Metals; Urine 尿経路排泄重金属検査

有害重金属					
		数値 μg/g クレアチニン	標準 範囲	基準値内	高い
アルミニウム	(Al)	1.8	< 60		
アンチモン	(Sb)	0.1	< 0.3		
ヒ素	(As)	270	< 120		
バリウム	(Ba)	1.9	< 7		
ベリウム	(Be)	< dl	< 1		
ビスマス	(Bi)	0.8	< 2		
カドミウム	(Cd)	1.5	< 0.4		
セシウム	(Cs)	17	< 12		
ガドリニウム	(Gd)	< dl	< 0.4		
鉛	(Pb)	31	< 3		
水銀	(Hg)	17	< 4.5		
ニッケル	(Ni)	5.3	< 14		
パラジウム	(Pd)	< dl	< 0.15		
プラチナ	(Pt)	< dl	< 0.1		
テルル	(Te)	< dl	< 0.5		
タリウム	(Tl)	0.7	< 0.8		
トリウム	(Th)	< dl	< 0.05		
錫	(Sn)	1.6	< 9		
タングステン	(W)	0.5	< 0.6		
ウラン	(U)	< dl	< 0.04		

クレアチニン						
	数値 mg/dL	標準 範囲	-2SD	-1SD	MEAN	+1SD +2SD
クレアチニン	118	25- 180				

検体データ			
コメント:			
検体採取日:	レシートに pH: Acceptable	採取期間:	timed: 6 hours
検体受託日:	<dl: less than detection limit	量:	
検査完了日:	誘発物 DMSA	誘発物:	POST PROVOCATIVE
方法:	ICP-MS クレアチニン by Jaffe Method		

測定結果は、尿の希釈による変動に対処する為に、クレアチニン濃度で値カミ修正されています。基準範囲とそれに対応するグラフ、非負荷試験下の健常者の集団の値を表しています。キレーション(負荷)物質によつて金属/元素の尿中排泄カミ増加することカミあります。



ラボ番号
患者名:
ID:
性別:
年齢:

クライアント: 30131
医師名
Detox Co., Ltd.
2-6-6 Numabukuro Nakano-Ku
Tokyo, 165-0025 JAPAN

Essential Elements; Urine 尿 必須要素

		必須要素 クレアチニン		百分位数				
		数値 クレアチニン	標準 範囲	2.5 th	16 th	50 th	84 th	97.5 th
ナトリウム (Na)	120 mEq/g	45- 350						
カリウム (K)	51 mEq/g	25- 200						
リン (P)	1410 µg/mg	330- 1700						
カルシウム (Ca)	110 µg/mg	25- 300						
マグネシウム (Mg)	85 µg/mg	30- 350						
亜鉛 (Zn)	0.92 µg/mg	0.15- 2.5						
銅 (Cu)	0.065 µg/mg	0.007- 0.06						
イオウ (S)	1180 µg/mg	350- 1900						
マンガン (Mn)	0.0007 µg/mg	0.0005- 0.02						
モリブデン (Mo)	0.49 µg/mg	0.02- 0.25						
ホウ素 (B)	1.8 µg/mg	0.8- 8						
クロム (Cr)	< dl µg/mg	0.0004- 0.005						
リチウム (Li)	0.022 µg/mg	0.01- 0.25						
セレン (Se)	0.082 µg/mg	0.04- 0.35						
ストロンチウム (Sr)	0.24 µg/mg	0.04- 0.6						
バナジウム (V)	0.0008 µg/mg	0.0002-0.0025						
				68 th		95 th		
コバルト (Co)	0.0008 µg/mg	< 0.007						
鉄 (Fe)	0.16 µg/mg	< 1						

		クレアチニン						
		数値 mg/dL	標準 範囲	-2SD	-1SD	MEAN	+1SD	+2SD
クレアチニン	118	25- 180						

検体データ			
コメント:			
検体採取日:	レシートに	pH: Acceptable	採取期間: timed: 6 hours
検体受託日:	<dl:	less than detection limit	量:
検査完了日:	:	誘発物 DMSA	誘発物: POST PROVOCATIVE
方法:	ICP-MS	クレアチニン by Jaffe Method	

測定結果は、尿の希釈による変動に対処する為に、クレアチニン濃度で値カミ修正されています。基準範囲とそれに対応するグラフ、非負荷試験下の健常者の集団の値を表しています。キレーシヨソ(負荷)物質によつて金属/元素の尿中排泄カミ増加することカミあります。